

目 次

1	はじめに	P	1
2	外国人住民の現状	P	2
3	外国人住民増加の背景	P	4
4	現状の課題	P	5
5	施策・提言	P	8
6	要綱案	P	11
7	おわりに	P	12

多文化共生の地域社会づくり

～外国人住民地域リーダーを養成しよう～

【現状・背景】

- 外国人住民の定住人口の増加と多国籍化
- 言葉や文化などのちがいにより、多岐にわたる様々な課題が顕在化する
- 地域社会においては、互いに理解を深め共に暮らせる多文化共生社会のまちづくりが求められている。

★多文化共生とは？

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

問題

①医療の問題

②就労の問題

③日本語のコミュニケーション問題

④住居の問題

⑤こどもの教育の問題

⑥地域コミュニティの問題

- 全国各地で様々な取り組みが行われているが、行政が直面するニーズは多様化・複雑化しており、これまでの施策では十分とは言えない
- 外国人住民と日本人住民が互いに理解し、共に暮らせる地域にするにはどうしたらよいだろうか？

外国人のリーダーが活躍する当事者参加型の共生社会づくりが求められる

◇政策提言

「外国人住民地域リーダーを養成する」

STEP1

人材の確保
(推薦要件)

STEP2

リーダー養成講座
(計画・内容・期間など)

STEP3

スキルアップ
(報告会・意見交換など)

【外国人住民地域リーダーの主な活動内容】

- ① 電話などによる相談対応
- ② 相談会の開催（月1回程度）
- ③ 行政との連絡調整
- ④ 地域行事等の参加

外国人住民と行政と日本人住民との橋渡し

効果

外国人住民と日本人住民との相互理解が深まり、多文化共生の地域社会が生まれる